

加工資材等安定確保対策事業調査報告書

スペイン編

令和2年3月

日本ハム・ソーセージ工業協同組合

はじめに

日本で生産されるソーセージ類のうち、ウィンナーソーセージとフランクフルトソーセージの生産量割合（2018年）は、それぞれ74.8%と11.3%となっている。このうち、ウィンナーソーセージ生産量の約60～65%に羊腸が、フランクフルトソーセージの約20～25%に豚腸が使用されており、美味しいソーセージには欠かせない重要な加工資材として、その安定供給が求められている。

2018年の天然ケーシングの輸入数量（財務省貿易統計）は、4,185.3トン（対前年比104.2%）であったが、中国・オーストラリア・ニュージーランド産の輸入割合は98.9%と、この3カ国からの輸入に大きく依存している。特に、日本に輸入される天然腸の63%が中国産であること、船積地ベースでは、豪・NZ産天然腸の多くが中国で加工された後に日本に輸出されることから、中国からの積み出し分は約95%となっている。

我が国の天然ケーシング輸入がこれら3カ国に大きく依存している中で、近年の豪・NZの異常気象や家畜種の変化による羊飼育数の減少、中国でのアフリカ豚熱（ASF）の発生拡大による豚飼育数の激減など天然ケーシングに係る貿易環境は著しく変化しており、これらの国からの供給量や供給ルートに制約が生じた場合には、我が国のソーセージ産業の生産量及び市場価格への影響は甚大なものとなることが予想される。

こうしたリスクに対処し天然ケーシングの安定供給を確保するためには、天然腸の調達可能国の拡大や調達ルートの多様化が喫緊の課題となっている。

本報告書は、この天然ケーシングの安定確保のための課題を解消するため、JRA畜産振興事業「国産食肉加工品国際競争力強化対策事業（加工資材等安定確保対策事業）」の一環として、スペイン天然ケーシングの輸入可能性を探るために実施した現地調査の結果をとりまとめたものである。

最後に、本事業に対して貴重な助成をいただいた公益財団法人全国競馬・畜産振興会に深く誠意を表したい。

令和2年3月

日本ハム・ソーセージ工業協同組合

目次

I. スペイン天然ケーシング調査の概要

1. 調査対象国について	1
2. 調査団メンバー	2
3. 調査日程	2
4. スペイン概況(参考)	2

II. 現地調査報告

1. 在マドリッド日本大使館経済部	3
2. スペイン農業・漁業・食糧省	4
3. Incarlopsa 屠畜場	4
4. Gallent Casing 社	5
5. スペイン天然ソーセージケーシング協会(AETRIN)	6

III. スペインからの天然腸安定調達の可能性(まとめ)

1. スペイン市場の現状	7
2. 輸入制度の制約	7
3. まとめ	8

IV. 関係資料・統計資料

1. スペイン概況(在スペイン日本大使館資料)	9
2. 世界のめん羊と豚の飼育数上位30カ国	11
3. スペインのめん羊・山羊・豚・牛の飼育数と屠殺数の推移	12
4. 日本の天然ケーシング輸入可能国と認定/指定施設数	12
5. 日本の天然腸輸入状況	13
6. ソーセージ生産状況	14
7. スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて(抜粋)	14

I. スペイン天然ケーシング調査の概要

1. 調査対象国について

①スペインを対象国とした理由

現在の天然ケーシングの供給国が中・豪・NZに特化している理由の一つは、BSE発生国からの羊腸の輸入が禁止されていることにある。BSE発生国の羊腸輸入が禁止されるまでの欧州各国からの輸入は、輸入量全体の約1割を占めていたことから、調査対象国は欧州の特定国とすることとした。

その上で、欧州各国のめん羊及び豚の飼育数順は表1のとおりであり、スペインを調査対象国とすることが適当と判断した。

また、BSE対策としてのめん羊肉等の輸入禁止措置も、食品安全委員会による累次のリスク評価を経て見直しされており、フランス・米国・アイルランド・英国に続き、2019年6月にはスペインのリスク評価が完了し、今後、所定の手続きを執って輸入可能となるため、調査対象国とすることは時宜を得たものと判断した。

表1 EU諸国の中での羊・豚飼育数順位

	めん羊の飼育数		豚の飼育数	
1位	英国	3,483万頭	スペイン	2,997万頭
2位	スペイン	1,596万頭	ドイツ	2,758万頭

(出典：FAO 2017年)

②日・スペイン天然ケーシング貿易

スペインからの天然腸輸入は、1988年に1.5トンの輸入が行われている。前述のとおり、2002年以降はBSE対策として羊肉等の輸入禁止措置が執られており、スペインはじめ欧州各国からの輸入実績はない。

③スペインの動物の腸・ぼうこう・胃の輸出規模（参考）

スペイン天然ケーシングの輸出統計は把握できないため、EU統計局の貿易データベースから「腸・ぼうこう・胃（HSコード050400）」のEU域内とモロッコへの輸出額（表2）を参考まで抽出した。

表2 腸・ぼうこう・胃の輸出額

(単位：千ユーロ)

輸出国（参考）	2016年	2017年	2018年
EU域内	45,659	54,699	56,213
モロッコ	5,314	8,205	11,026

※（HSコード050400：動物（魚を除く。）の腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片（生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したものに限る。）

2. 調査団メンバー

- 【団 長】 関 道康 (株)日昌トレーディング 専務取締役
- 【副団長】 松永 大介 (株)松永商會 代表取締役専務
- 【団 員】 島田 謙一郎 (国大)帯広畜産大学 生命・食糧科学研究部門教授
- 【団 員】 角一 健二郎 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 理事
- 【団 員】 依田 隆實 日本羊腸輸入組合 事務局長

3. 調査日程

- 11月5日(火) 移動日(羽田⇒フランクフルト⇒マドリッド)

- 11月6日(水) 10:30 在スペイン日本大使館
12:00 スペイン農業・漁業・食糧省(MAPA)
16:00 Incarlopsa 屠畜場

- 11月7日(木) 07:00 国内移動(マドリッド⇒バレンシア)
10:00 Gallent Casing 社
12:30 スペイン天然ソーセージケーシング協会(AETRIN)
17:10 国内移動(バレンシア⇒マドリッド)

- 11月8日(金) 移動日(マドリッド⇒ロンドン⇒ / マドリッド⇒北京⇒)

- 11月9日(土) 移動日(⇒羽田)

(注) 11月8日の帰国便は、ルフトハンザ航空のストライキのため同社手配便に変更(2班に分割)されたため

4. スペイン概況

①基本情報

- ・面積：50.6万平方キロメートル(日本の約1.3倍)
- ・人口：約4,693万人(2019年1月)(うち約485万人は外国人)
- ・首都：マドリード(マドリード市の人口約327万人)(2019年1月)
- ・元首：フェリペ6世(Felipe VI)国王(2014年6月19日即位)
- ・政府：サンチェス社会労働者党政権(2018年6月発足、2019年4月の総選挙後暫定政権となっている。)

②経済概況

1986年のEU加盟・1999年のユーロ導入を経て2008年のリーマン・ショックまで好調を維持、20年間でGDPは約3倍に拡大し、国民生活も大きく改善。しかし、2008年以降、景気低迷による財政赤字の拡大、不動産バブル崩壊による金融機関の破綻、失業も深刻化している。

2011年12月に発足したラホイ前政権は、財政赤字削減・金融改革・労働市場改革（解雇コストの引下げと若年労働者の雇用促進）、医療・教育・年金・地方行政等の制度改革に取り組み、経済は2013年度第4四半期から回復基調に転じ、実質GDP成長率は、前期比ベースで23四半期連続のプラス成長となった。

失業率は、経済回復に伴い改善しているものの、17.1%（2017年、392万人）と依然として高く、特に若年層（16～24歳）の失業率は36%に達しており、スペイン経済にとって深刻な問題となっている。

一方で、他の国で見られるような暴動等が起こらないのは、地下経済（報道によればGDPの20%程度に相当）の存在、血縁・地縁による相互扶助関係、15年続いた好況期の蓄え等が挙げられる。

2018年6月に発足したサンチェス政権は、財政安定化と福祉国家の再構築、経済成長の強化と質の高い雇用の創出を政権の最重要課題と位置付け、これに取り組んでいる。

II. 現地調査報告

1. 在マドリッド日本大使館経済部

①面談者：青木勝弘一等書記官、椎名隆之一等書記官

②結果概要：

当方から、本調査団の目的を説明した後、青木一等書記官から、「先般の厚生労働省の対日輸出証明プログラム：Export Verification Program（以下、「EVP」という。）調査とその後の検討状況についてフォローしていきたい。厚労省調査では、羊腸については十分な調査が出来なかったと承知している。現在、EVPに関連して厚労省のパブコメが行われているので、スペインからの羊肉輸入手続きは順調に進められていると承知している。」旨の発言があった。

椎名一等書記官から、「スペインの政治情勢としては、2019年2月に同年予算案の否決を受け、サンチェス首相は議会の解散を決定した。2019年4月に実施された議会選挙の結果、与党は単独過半数を獲得できず初の5大政党制となるも、連立協議が不調に終わり、9月に上下両院が解散、11月10日に再選挙を実施することとなった。

一方、スペイン経済は、好調な観光を背景に2013年から回復基調に転じ、失業率も回復に転じるも依然として高水準にある。2018年10月の安倍総理の公式訪問により、二国間関係は、「戦略的パートナーシップ」へ格上げされるとともに、2018年の日西外交関係樹立150周年での官民ハイレベル交流を受け、更なる強化の好機となっている。」旨の説明があった。



(写真右から3人目が青木書記官、4人目が椎名書記官)

2. スペイン農業・漁業・食糧省

①面談者：Valentin Almansa de Lara（農産物衛生局長）

Carlos Valencia Gonzalez（衛生協定・国管理支局担当）

－陪席－

Vicente Gallent Jr.（AETRIN 会長）

Daniel Corominas（AETRIN 技術部）

Pompili Roiger（AETRIN 事務局長）

②結果概要：

当方から、羊腸の対日輸出再開については、現在、スペイン当局と日本当局との間で協議されている羊肉及び羊内臓の輸入に係る EVP の中に羊腸を含めることが必要であり、関連して AHR（Animal Health Requirement）の変更が必要となる旨を説明し、スペイン当局から日本側に羊腸を含めるよう協議・検討を要請した。

Valentin Almansa de Lara 局長から、ケーシングも含めて交渉をしており、現在、日本政府からの回答を待っているところとの発言があった。

続いて、当方から、豚腸については日本当局による BSE 対策の見直しとは関係しないので、AHR が求めている条件（スペイン側で加工保管施設を認定し日本当局に通知し、定められた検査証明書を添付）を満たせば対日輸出が可能となる旨を説明した。

同局長から、AETRIN 関係者対し、豚腸輸出への関心を確認した上で、具体的な相談があれば対応したいとの発言があった。



（写真奥中央が Valentin Almansa de Lara 局長）

3. Incarlopsa 屠畜場

①面談者：Tamar 所長

－同行－

Vicente Gallent Jr.（AETRIN 会長）

Daniel Corominas（AETRIN 技術部）

②結果概要：

Incarlopsa 社が所有すると畜場内の豚内臓処理工程を視察した。同社は、豚内臓処理の優れた技術を有する DAT（ダニッシュクラウンの子会社）との合弁会社として設立され、ヨーロッパの最新と畜技術が導入されている。

現在、1日当りのと畜頭数は6,000頭（と畜時の豚生体重は140～150kg）で、一日当たり12,000頭までの処理が可能な設備で、国内10位内にランクされる規模となっている。施設は2階建てで、2階部分がと畜ライン、1階部分が内臓処理ラインとなっていた。従業員は60名（午前40名、午後20名の2交替制）、モロッコ人や中南米からの移民を採用し、2割はモロッコ人が

占めている。

スペイン産羊腸は、食品としての消費が多い。国内向け羊腸ケーシングは、仏・英・トルコから輸入しており、パキスタン、ウズベキスタン、中東からも輸入を始めている。NZ産羊腸は価格が高く太いため、輸出向けになっている。



(Incarlopsa 社訪問を終えて)

4. Gallent Casing 社

①面談者：Vicente Gallent Jr (Gallent 社 CEO)
Daniel Corominas (Gallent 社技術部)

②結果概要：

Gallent 社は三世代にわたる家族経営で、Vicente Gallent Jr 氏の祖父が肉屋を創業し、父親が天然ケーシング事業を約 30 年前から始め現在に至る。従業員数は 50 名（製造 30 名、営業 10 名、管理 10 名）となっている。

Vicente Gallent 社長は、ケーシング業に携わって 11 年目を迎え、INSCA 及び AETRIN の会員となっている。30 年前はケーシング業界の評価は低かったが、IFS の認証を得て、更に BRC (英)、ISO の認証を取得し、評価の向上に努めている。ケーシングは、2009 年に食品として認められ、2014 年から何の天然腸か、人工腸は成分を表記することが義務付けられている。

原料仕入については、豚腸は国内の豚と畜場と直接仕入契約しており約 90% がスペイン原産となっている。羊腸は、スペイン産の羊がミルクラム (1 ヶ月齢、8 ~ 12kg) として出荷されるのでケーシングとして使えない。従って、イギリス、フランス、トルコなどから原料を仕入れモロッコで加工している。モロッコで加工する理由は、地理的に近く 2 週間程度でクリーニングと口径選別が終わること、加えて、モロッコの加工賃 (2.5 ユーロ/h) はスペインの加工賃 (12 ユーロ/h) の 1/5 と安いので価格競争力が高くなるとの説明だった。また、牛腸は、JBS と独占契約しブラジルから仕入れているとのことだった。

Gallent 社ケーシング工場では、チューブド加工及び最終製品の検品などを行っているが、異物検査では、ピンセットを使って異物 (人毛や植物片等) を確認していた。

当方から、羊腸に関連する EVP については、スペイン及び特定国で出生・飼養された羊由来のケーシングが条件となっており、今回のような第三国 (モロッコ) で加工を行っている場合の取扱いについては確認が必要である。また、AHR では、羊腸・豚腸ともに、汚染のない方法で認定施設に搬入されることが条件となっているため、第三国が汚染国である場合の取扱いについても確認が必要である旨を伝えた。

Gallent 社から、海外の輸出先を開拓し顧客に合った製品を輸出する努力を行いたい。2015 年までは中国でのケーシング加工を行っていたが、モロッコに合弁企業を起ち上げ、250 人規模でケーシング加工を行っているとの説明があった。



(ケーシング保管室にて)



(左から、関団長、松永副団長、Vicente Gallent Jr 社長、島田団員、角一団員、依田団員)

5. スペイン天然ソーセージケーシング協会(AETRIN)

①面談者：Vicente Gallent Jr (AETRIN 会長／Gallent 社 CEO)

Daniel Corominas (AETRIN 技術部／Gallent 社)

Sandra Guerrero Sanchez (AETRIN 理事／Casings L. Guerrero 社)

Jaime Barea (AETRIN 会員／Tripas Levantina Barea 社)

②結果概要：

AETRIN は、スペイン天然ケーシングの競争力と生産性向上を目的として、1984年に設立された団体で、現在の会員数は26社となっている。INSCA (国際天然ソーセージケーシング協会) の会員になっており、Vicente Gallent Jr 会長 (GALLENT Casing Company) は INSCA の理事に就任している。

AETRIN の会員は、スペイン天然腸市場の約80%を取り扱っており、残り20%はアウトサイダーの取扱いとなっている。

AETRIN は、食感とうま味を増すという天然腸の利点をPRすることに力を入れている。このため、AETRIN の品質保証シールを作成し、監査基準に合格した会員企業は製品にこのシールを貼ることでアウトサイダーとの差別化を図っている。監査基準は生産工程の衛生管理がベースとなっており、監査機関に委託して実施している。

スペインのケーシング市場規模について確かなデータは無いが、概ね、数量ベースで天然ケーシングが60% (うち豚腸60%、羊腸30%、牛腸10%)、人工ケーシングが40%を占めていると言われている。

スペインの食肉消費動向 (2018年) については、国内消費量の72.5%を生鮮肉が、25.1%を加工肉が、2.4%を冷凍肉が占めており、2017年対比では、生鮮肉は▲3.8%、加工肉は+1.9%、冷凍肉は▲9.6%となっている。家庭で消費される生鮮肉の割合は、健康志向から鶏肉が最も多く37.5%、豚肉が29.8%、牛肉が14.6%となっている。

Casings L. Guerrero 社は、ファミリー企業として羊腸・豚腸・牛腸を扱っており、羊腸は中国・豪・NZ・中近東原産のものを輸入。特に中国とは30年間の取引実績がある。豚腸は、スペイン及び欧州各国産のものを第三国で加工して販売し、牛腸はブラジル・アルゼンチンから輸入している。

Tripas Levantina Barea 社は、40年以上の天然腸取引実績があり、羊腸は中国・NZ・豪・サ

ウジアラビアから、豚腸は中国・米から輸入しているが、加工場は第三国に設けている。牛腸も 2 年前から取り扱っている。

スペインに加工場を設置するのはコストの面から困難であり、社員は 25 名で輸入商社の役割を果たしており、中国天津に子会社を設けている。

AETRIN 側 3 社は、日スペインが協力して天然腸市場の発展に協力することに同意しており、双方にとって有益であると考えられる。また、中国の取引先は日本とも取引があり、中国企業を活用することも重要であるとの意見が双方の話し合いであった。

Ⅲ. スペインからの天然腸安定調達の可能性(まとめ)

1. スペイン市場の現状

スペイン天然ソーセージケーシング協会 (AETRIN) 会員企業は国内流通量の約 80% を取り扱っており、本調査団が AETRIN との意見交換を通じ得た情報では、スペイン天然腸業界の現状を述べているものとして、以下のとおり、まとめられる。

- ①スペインで飼育される羊は、ミルクラムとして消費されることからスペイン原産羊腸がソーセージケーシングとして扱われることは殆どない。
- ②取扱い羊腸の口径及び長さの規格は、22-24 / 20-22 で 3mUP 又は 6mUP が主流となっている。
- ③羊腸ケーシングは、EU 内及び中国・豪・NZ・中東諸国から原腸を輸入し、第三国（主にモロッコ）で加工し、国内市場又は輸出に供されている。
- ④豚腸ケーシングは、スペイン産豚腸に加え中国・米国から調達し、羊腸同様に第三国で加工されている。中国・米国から輸入される豚腸のうち加工済み豚腸の割合は掴めきれていない。
- ⑤スペイン国内での天然腸の加工は、主に人件費を理由に行われていない。モロッコが主要な加工地となっているが、地中海を挟んでの隣国という距離的メリットによる加工期間の短さと管理のし易さ、人件費を中心とした加工コストの低いことが理由となっている。

2. 輸入制度の制約

天然腸の輸入にあたっては、我が国の食品衛生法及び家畜伝染病予防法に規定される条件をクリアする必要があるが、全ての輸入対象国に適用される両法の基本的な手続きは省略し、スペインから輸入する場合に考慮すべき点は、次のとおりである。

- ①羊腸については、2001 年の日本国内での BSE 発生を受け 2004 年 2 月にと畜場法施行規則の改正により、羊のと畜時に小腸をはじめとする内臓の除去・焼却の義務化と輸入の禁止が実施

された。これを受け、欧州を主とする BSE 発生国からの羊腸の輸入が完全に停止されている。

その後、2016 年 1 月に食品安全委員会による「めん羊及び山羊の BSE 対策の見直しに係る食品健康影響評価」を踏まえ、2016 年 6 月にと畜場法施行規則の一部改正が行われ、輸入禁止措置は解除された。

しかしながら、羊腸の輸入については、輸出国と我が国の二国間で合意される「日本向けに輸出可能な羊のと畜並びに羊肉及び羊内臓肉の加工の基準：輸出証明プログラム（EVP）」に基づき実施される必要があり、本調査時点では、日・スペイン間では EVP は合意されていない。（注）日・スペイン間の EVP は、2020 年 1 月 15 日に発表されたが、EVP の対象内臓肉の範囲に、羊腸は含まれていない。（関係資料 7 参照）

②豚腸については、羊腸で必要とされる EVP の合意は必要とされていないことから、「輸出国から日本向けに輸出される天然ケーシングの家畜衛生条件（AHR）」に基づき実施される必要がある。

しかしながら、現時点では、AHR で求められている加工施設の認定と我が国への通知及び検査証明書様式の提示は行われていない。

3. まとめ

スペインから天然腸を安定調達する可能性及び評価について、以下のとおりまとめる。

①上記 2. で報告したとおり、羊腸に係る EVP の政府間合意が不可欠であり、今後の推移を見守る必要がある。本調査団のスペイン農業・漁業・食糧省担当局長との面談では、同局長は EVP に羊腸を含めることに異論はなく、両政府に対し、羊腸の安定調達のためにも早期の合意を求めていく必要がある。また、豚腸については、AHR の条件に関するスペイン政府の取り組み如何に係るものであり、今回の調査でも働き掛けを行っているが、引き続き、フォローアップを行う必要がある。

但し、EVP・AHR ともに、スペイン国内に天然腸の加工保管施設があることが前提条件となっていることから、本調査団で判明した第三国における天然腸加工の実態を踏まえ、EVP・AHR の運用面での精査・工夫が必要と判断される。

②スペイン原産羊腸については、上記 1. ①のとおりであるが、スペインからの羊腸・豚腸の調達量については、特段の不安はないものと判断される。

他方、日本メーカーが求めるスペック、特に羊腸の長さ規格については、欧州市場で流通している規格とは異なり、日本市場特有の規格ともいえる 7mUP / 10mUP に応じることが可能か、それにより羊腸価格の上昇を招くことがないかを考慮しなければならない。我が国ソーセージメーカーが、3mUP / 6mUP での納入を受け入れてくれるのであれば、安定供給は十分可能と判断される。

IV. 関係資料・統計資料

1. スペイン概況(在スペイン日本大使館資料)

スペイン

～フラメンコと闘牛だけではなく欧州の大国～

2019年11月
在スペイン日本大使館

人口: 4,701万人 (日本の4割程度, 韓国とほぼ同じ)
面積: 50.6万km² (日本の1.3倍, 仏に次ぎEU第2位)
GDP: 1兆4,259億ドル (世界第13位, 2018年)
 一人当たり30,697ドル (同第33位, 2018年)
成長率: 2.6%, **物価上昇率:** 1.7%, **失業率:** 15.3% (2018年)
政体: 議会君主制 (国王フェリペ6世陛下)
議会: 下院 (350名, 比例代表, 任期4年),
 上院 (266名, 中選挙区制+自治州毎の任命, 任期4年)

スペインの重要性

- ① **欧州の大国**
 - ・人口・経済ともに独・英・仏・伊に次ぐ欧州第5位
- ② **スペイン語を通じた大きな影響力**
 - ・中南米情勢について深い知見。人脈や影響力の高いメディア
 - ・通信や金融を中心にスペイン企業が中南米に進出
- ③ **産業・技術における高い国際的競争力**
 - ・**再生可能エネルギー**：発電構成における再生可能エネルギー比率は約40%
 再生可能エネルギー発電容量 世界8位
 集光型太陽熱発電容量は世界第1位
 - ・**インフラ**：AGSグループ(国際契約額世界第1位)
 - ・**高速鉄道**：人口当たり路線距離で世界第1位 後述各章
中心・目次
 - ・**自動車**：生産台数は欧州第2位 (第1位は独)

スペイン語圏人口は約5億人。ビジネスでも中南米へのゲートウェイ。

“アフリカに一番近いヨーロッパ”
 古来、ジブラルタル海峡は欧州とアフリカを結ぶ最短ルート。8世紀にはイスラム勢力がここを奪って、以降2000kmに迫り、その後も700年以上にわたり、スペイン南部を支配。

風車と風力発電施設
 かつてドン・キホーテが突撃した風車は、今やスペインにとって不可欠なエネルギー供給装置。全電力のおよそ2割を風力でまかっている。

高速鉄道AVE
 1992年セビリア万博に合わせて開業。路線総延長は中国、日本に次いで3位。欧州では、本家フランスを抜いて1位。

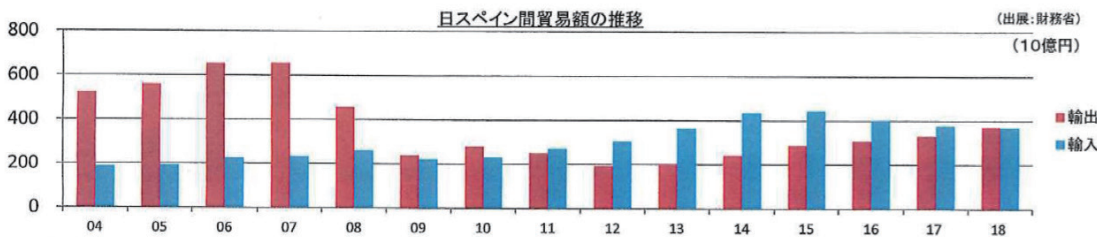
「日本」姓の町
 南部のコリア・デル・リオには、慶長遣欧使節団の血を引くと思われる人々が居住。スペイン全体で約1500人がスペイン語で「日本」を意味する「ハボン」の姓を名乗っている。写真は同市にある支倉常長の銅像。

日西経済関係

2019年10月
在スペイン日本大使館

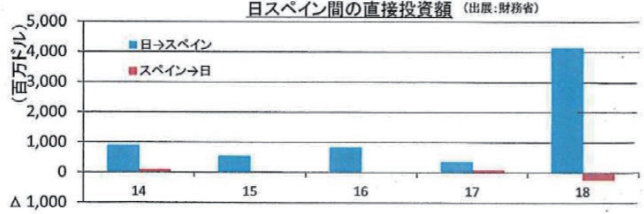
1. 貿易

- 日西間の貿易量は堅調に増加の傾向。日EU・EPAの効果かワインの輸入は増加。
- 日→西：自動車・自動車部品等、一般機械(金属加工機械、電気機器)等 西→日：化学製品(医薬品等)、自動車部品、食料品等



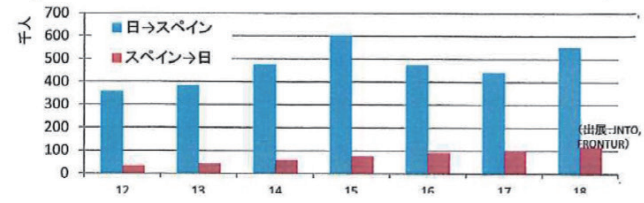
2. 直接投資

- スペインには商社、自動車、化学、金融等多数の企業が進出。
- 日本に50社以上のスペイン企業が進出 (食品・飲料、衣服、陶器、金融)



3. 観光

- 2018年には年間55万人超の日本人がスペインを訪問。
- スペインからの訪日観光客数は7年連続過去最高を更新。5年前に比べ約3倍の訪問客。



最近のスペイン情勢と日西関係

政治

4月28日の議会選挙後の新首相信任ならず、11月10日に再選挙。

- 2019年2月、同年予算案の否決を受けサンチェス首相は議会の解散を決定。4月28日に実施された議会選挙において、与党PSOEは下院で123議席(全350議席)を得て第1党の座を獲得。右派の保守政党VOXの初の国政進出により、初の5大政党制へ。
- PSOEを中心とした連立・協力協議が進められるも、7月の信任投票では信任に至らず。その後の左派のポデモス連合との連立又は協力にむけた協議も不調に終わり、9月24日に上下両院が解散、11月10日に再選挙となった。
- フェリペ6世国王即位(2014年):王室のイメージを刷新。支持率が向上。2017年4月、国王即位後初のアジア訪問として日本を国賓訪問。

経済

構造改革により成長率は回復。失業率は改善するも依然高い水準。

- 財政赤字削減に向けて歳出削減・増税。金融セクターを整理・統合(54行→14行)。労働市場等を改革。←EU・IMF・ECBによる金融支援(400億ユーロ)
- 成長率:3.0%(2017年)、2.6%(2018年)、2.2%(2019年見通し)
←民間消費や設備投資の回復、好調な観光を背景に2013年後半から経済は回復基調に転じ、2015年のピーク(3.6%)以降も力強い成長が続いている。
- 失業率回復も依然高い水準:15.3%(2018年)、若年層は34.4%(51.7万人)。※好景気時でも10%前後と、他の欧州主要国と比較して恒常的に高水準。
←地下経済、統計上の問題、家族の支援等の背景がある模様。

外交安全保障

サンチェス政権継続の場合、欧州重視・欧州統合強化の姿勢を維持と見られる。

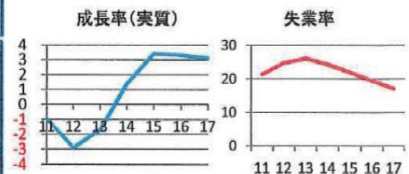
- 欧州重視の姿勢を維持しつつ独仏との協調姿勢はこれまで以上に顕著。統合強化を重視。
- 増加傾向の移民対策は欧州全体で行うべきとしつつ、責任と連帯を主張。
- 中南米:歴史的・文化的繋がりが強く、イペロアメリカ・サミットの活用を重視。
- アジア:日本・フィリピンは伝統的友好国。経済面で中国及びインドに関心。

二国間の優先課題

2018年の外交関係樹立150周年を経て、新たな高みへ。

- 2018年10月の安倍総理公式訪問により、「戦略的パートナーシップ」へ。
- 2018年10月の安倍総理訪西時の二国間関係の「戦略的パートナーシップ」への格上げ、同年の日西外交関係樹立150周年での官民ハイレベルの交流を受け、二国間関係の更なる強化の好機。
- 2019年6月のG20サミットにサンチェス首相が参加。同10月の即位の礼に国王陛下が訪日。
- 日本・スペイン・シンポジウム:2019年11月にパレンシア州カステジョン市で開催。

2019年選挙の結果、初の5大政党制となるも、11月10日に再選挙へ

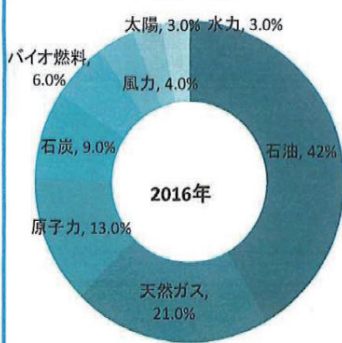


スペイン経済(エネルギー政策)

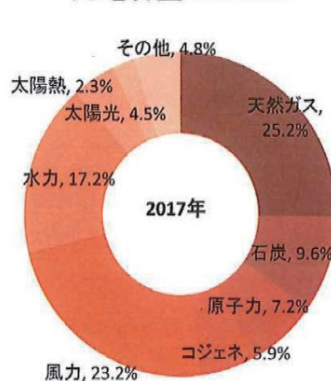
2019年10月
在スペイン日本国大使館

- (1)スペインは再生可能エネルギー先進国。発電量に占める再生可能エネルギー比率はおよそ30%(右円グラフ)。
- (2)電力セクターは1994年に導入された固定価格買取制度(FIT)のため最大約3兆円の累積赤字を抱えた。この改善のため、2012年以降累次固定価格買い取り制度を改正し、現在は既存の事業者に対しては一定の収益を保証する仕組み。新規再エネの導入には入札制を導入している。
- (3)原発は7基設置(計7.5GW)し新設は凍結。2020年以降迎える耐用年数の延長については電力会社、政府等ステークホルダーの間で議論。

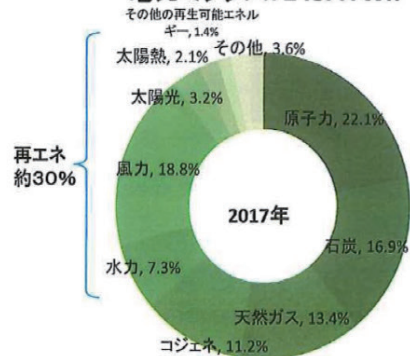
一次エネルギー消費
: 119 Mtoe



発電容量: 98.8GW



電力ミックス: 248.4TWh



2. 世界のめん羊と豚の飼育数上位30カ国

(めん羊)

国名	2017年	2016年
中国	161,350,800	162,062,500
オーストラリア	72,125,334	67,543,092
インド	63,068,632	64,303,585
ナイジェリア	42,500,000	42,103,072
スーダン	40,573,686	40,551,149
イラン	40,029,687	41,861,730
イギリス	34,832,000	33,943,000
エチオピア	31,836,701	30,697,942
トルコ	30,983,933	31,507,934
チャド	30,789,484	28,529,915
モンゴル	30,109,888	27,856,603
パキスタン	30,100,000	29,800,000
アルジェリア	28,393,602	28,135,986
ニュージーランド	27,526,537	27,583,673
ロシア	22,744,376	22,713,067
南アフリカ	22,688,930	23,287,247
モロッコ	19,863,000	19,870,000
ケニヤ	18,759,072	18,983,760
ブラジル	17,976,367	18,403,947
南スーダン	17,823,313	17,589,664
シリア	17,641,877	18,001,671
マリ	17,400,000	15,900,300
ウズベキスタン	16,810,800	15,670,000
インドネシア	16,462,274	15,716,667
カザフスタン	16,049,807	15,884,814
スペイン	15,963,107	15,962,892
アルゼンチン	14,842,957	14,864,321
トルクメニスタン	13,970,826	14,022,190
アフガニスタン	13,866,000	13,265,200
ニジェール	12,315,737	11,899,263

(豚)

(単位：頭)

国名	2017年	2016年
中国	435,037,100	451,125,000
米国	73,414,900	71,545,400
ブラジル	41,099,460	39,893,073
スペイン	29,971,357	29,231,595
ドイツ	27,577,568	27,376,056
ヴェトナム	27,406,739	29,075,315
ロシア	22,027,698	21,506,840
ミャンマー	17,999,257	16,524,336
メキシコ	17,210,269	16,753,231
カナダ	14,250,000	13,935,000
フィリピン	12,427,790	12,478,711
オランダ	12,409,000	12,479,000
デンマーク	12,307,667	12,383,000
フランス	12,301,293	12,709,379
ポーランド	11,352,719	10,865,318
韓国	11,272,978	10,366,779
日本	9,346,000	9,313,000
インド	8,800,350	9,100,935
イタリア	8,570,807	8,477,930
インドネシア	8,138,276	7,903,450
タイ	7,872,047	7,915,037
ナイジェリア	7,506,015	7,482,973
ウクライナ	6,669,100	7,079,000
ベルギー	6,108,077	6,176,576
台湾	5,442,381	5,496,216
アルゼンチン	5,400,000	5,119,438
コロンビア	5,200,000	5,094,664
英国	4,969,000	4,866,000
ルーマニア	4,707,700	4,926,928
ラオス	3,869,000	3,700,000

(出所：FAO 統計)

3. スペインのめん羊・山羊・豚・牛の飼育数と屠殺数の推移

(単位：千頭)

年	飼育数				と畜数			
	めん羊	山羊	豚	牛	めん羊	山羊	豚	牛
2008	19,952	2,959	26,026	6,020	13,812	1,220	41,306	2,478
2009	19,718	2,934	26,290	6,082	11,392	1,173	40,888	2,307
2010	18,552	2,904	25,704	6,075	11,736	1,376	40,847	2,302
2011	17,002	2,693	25,635	5,923	11,377	1,423	41,743	2,315
2012	16,339	2,637	25,250	5,813	10,519	1,307	41,595	2,286
2013	16,119	2,610	25,495	5,697	10,312	1,214	41,418	2,222
2014	15,432	2,704	26,568	6,079	9,928	1,130	43,484	2,183
2015	16,523	3,010	28,367	6,183	9,960	1,210	45,891	2,334
2016	15,963	3,088	29,232	6,257	10,112	1,306	49,084	2,374
2017	15,963	3,060	29,971	6,466	9,833	1,358	50,073	2,391

(出所：FAO 統計)

4. 日本の天然ケーシング輸入可能国と認定/指定施設数(2019年12月末時点)

家畜衛生条件別	対象国	認定/指定施設数
天然ケーシングの家畜衛生条件	オーストラリア	16
	ニュージーランド	46
	アメリカ	13
	カナダ	2
塩蔵天然ケーシングの家畜衛生条件	中国	50
	モンゴル	4
	ヴェトナム	1
	トルコ	1
	エジプト	2
	モロッコ	4

(注：インド・パキスタン・フィリピン・ウルグアイ・ブラジルについては、「塩蔵天然ケーシングの家畜衛生条件」は取り決められているが、加工保管施設の指定が行われていないため塩蔵天然ケーシングの輸入はできない。)

5. 日本の天然腸輸入状況

国別天然腸輸入実績表（数量） 2010年～2019年（1月～12月）

単位：Kg

— 財務省通関統計による —

年別 国別	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)
中国	2,367,521	2,312,261	2,031,820	1,736,005	2,290,802	2,493,288	2,189,183	2,708,722	2,638,569	2,698,712
台湾							570			
モンゴル			160		8,205	15,372	24,327	13,384	16,529	53,947
パキスタン	17,631	20,087	14,864	10,680	10,455	6,595	3,960	6,463		
トルコ	6,554	9,855	32,665	33,426	8,808					623
エジプト	950				5,785	2,970		8,750	900	
カナダ				1,762	4,027				2,249	
米国	67,608	136,170	70,960	97,323	87,727	57,959	22,952	39,810	25,744	52,597
ブラジル	483	2,116	2,231							
チリ	3,778			2,176	2,444	2,370	2,337	2,419	1,147	
ウルグアイ						880		795	1,130	1,080
オーストラリア	275,677	528,739	604,338	415,148	1,007,114	830,530	877,239	590,809	819,001	691,351
ニュージーランド	1,001,948	825,199	832,374	780,259	211,796	339,385	393,862	645,815	680,104	879,249
合計	3,742,150	3,834,427	3,589,412	3,076,779	3,637,163	3,749,349	3,514,430	4,016,967	4,185,373	4,377,559

国別天然腸輸入実績表（価額） 2010年～2019年（1月～12月）

単位：千円

— 財務省通関統計による —

年別 国別	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)
中国	7,512,370	10,707,222	11,447,678	8,470,960	11,392,215	11,877,690	8,518,157	10,862,076	11,127,454	10,409,633
台湾							3,391			
モンゴル			782		62,841	138,783	157,326	81,692	107,984	272,480
パキスタン	61,124	99,379	95,980	57,806	42,397	16,038	7,083	10,746		
トルコ	16,902	56,434	191,362	157,652	46,187					2,000
エジプト	2,453				28,612	391		30,441	4,051	
カナダ				1,756	4,246				5,267	
米国	85,789	101,551	39,577	186,858	101,669	84,580	33,987	61,349	48,972	98,215
ブラジル	215	1,337	1,602							
チリ	1,889			1,496	1,944	2,624	2,023	2,058	1,041	
ウルグアイ						748		911	1,064	1,881
オーストラリア	1,128,664	2,688,543	3,629,790	2,367,287	6,589,922	5,715,379	5,244,851	2,991,663	4,364,197	3,618,097
ニュージーランド	3,494,506	3,436,531	4,798,649	4,640,427	1,056,519	1,857,076	1,548,825	2,576,296	3,013,947	4,054,100
合計	12,303,912	17,090,997	20,205,420	15,884,242	19,326,552	19,693,309	15,515,643	16,617,232	18,673,977	18,456,406

6. ソーセージ生産状況

ソーセージ生産量 2010年～2019年（1月～12月）

単位：トン

— 日本ハム・ソーセージ工業協同組合統計 —

年別 国別	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)
ウィンナー ソーセージ	212,838.1	216,747.8	220,458.7	224,421.2	229,434.8	225,268.6	228,706.7	239,493.7	238,921.0	238,519.5
フランクフルト ソーセージ	32,826.2	32,803.0	32,966.3	35,253.3	37,733.4	38,555.9	38,023.9	35,777.8	36,098.8	34,631.2
その他	47,126.6	46,786.6	47,995.8	46,912.1	45,690.8	42,918.1	43,613.4	43,530.7	44,440.4	43,934.7
合計	292,790.9	296,337.4	301,420.8	306,586.6	312,859.0	306,742.6	310,344.0	318,802.2	319,460.2	317,085.4

7. スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて(抜粋)

薬生食監発 0115 第5号
令和2年1月15日

各 検 疫 所 長 殿

医薬・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて

標記については、「BSE発生国等から輸入されるめん羊・山羊の肉等の取扱いについて」（平成16年2月27日付け食安監発第0227003号（最終改正：平成29年3月3日付け生食監発0303第1号）により取り扱っているところです。

今般、食品安全委員会における「めん羊及び山羊の牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに係る食品健康影響評価」を踏まえ、スペイン政府と協議の結果、新たにスペインから輸入されるめん羊及び山羊（以下「めん羊等」という。）の肉等に関する対日輸出プログラムを別添1のとおり定めました。

つきましては、本日以降、下記のとおり取り扱うこととしますので、その運用に遺漏のないようお願いします。

記

1 対象品目

スペイン当局から認定された対日輸出認定施設において、とさつ、解体、分割又は細切されためん羊等の肉及び臓器（食肉製品等を含まない。）とすること。

上記以外のスペインの施設で、とさつ、解体、分割又は細切されためん羊等の肉及び臓器並びに製造された食肉製品等を含む食品及び添加物のうち、食品衛生法（昭和22年法律第233号。以下「法」という。）第9条第2項に基づき証明書を要するものについてはこれを受け入れないこととし、それ以外のものについては輸入しないよう輸入者等に指導すること。

また、対日輸出認定施設のリストについては、別途通知する予定である。

2 衛生証明書

スペイン当局が発行する法第9条第2項に規定する衛生証明書の様式については、別添2のとおりであるので、食品衛生法施行規則（昭和23年厚生省令第

23号）第9条に規定する事項が記載されていることのほか、1で示した品目及び施設であること、対日輸出プログラムに適合している旨（All the required conditions described in the “SPAIN Export Verification Program-Japan” were fulfilled.）等について確認すること。

3 措置

検疫所における検査及び調査の結果、12か月齢超の頭部（扁桃を含み、舌、頬肉及び皮を除く。）及び脊髄並びに全月齢の脾臓及び回腸の混入と判定された場合には、当該ロットを法第9条第2項に違反するものとして取り扱うこと。

Standards for slaughter of sheep and goat and processing of sheep and goat meat and sheep and goat offal eligible for export to Japan

Export Verification Program

This Export Verification Program (EVP) provides the specified products processing requirements and requirements for facilities for the export of sheep and goat meat and sheep and goat offal* to Japan from Spain. This EVP comes in addition to the Spanish and EU regulations but might include some relevant domestic requirements. The Ministry of Agriculture, Fisheries and Food (MAPA) and the Ministry of Health, Consumption and Social Welfare (MSCBS) are the central Spanish competent authorities overseeing the implementation of the EVP in Spain.

1. Purpose

This EVP describes the standards that slaughterhouses and processing facilities shall meet in producing sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan in order to meet the following objectives:

- Ensure removal from ovine and caprine carcasses of all tissues ineligible for export to Japan;
- Prevent cross contamination of eligible sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan from ineligible tissues during slaughter and/or processing;
- Enable verification of compliance with Japan import condition relating to Transmissible Spongiform Encephalopathies (TSEs), in addition to Spanish and EU domestic requirements.

2. Scope

This EVP applies to Spanish facilities producing sheep and goat meat and sheep and goat offal* for export to Japan from Spain. The facilities shall meet the specified processing requirements and requirements for facilities for sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan from Spain. These facilities shall be designated and listed by the MAPA by agreement with the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW).

3. Identification and traceability records

3.1 Live sheep and goat shall be born and raised in Spain or imported into Spain from countries eligible for export sheep and goat meat and sheep and goat offal to Japan.

3.2 Live sheep and goat shall be individually identified.

3.4 An identification mark allowing the verification that the sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan complies with point 4.1 is applied on the product at each level of processing.

3.5 Records and identification information through the process shall be sufficient to trace:

- 3.5.1 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan to carcasses;
- 3.5.2 Individual carcasses to individual animal;
- 3.5.3 Individual animal to farm records.

* "Sheep and goat meat and sheep and goat offal" means sheep and goat meat, and sheep and goat offal and those cut into small pieces, and exclude processed sheep and goat products.

4. Specified Products Requirements:

4.1 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall be exclusively meat, offal and their products which the MHLW and the Spanish competent authorities recognize as eligible for export to Japan.

4.2 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall not include any Specified Risk Material (SRM) as defined by the enforced Japanese regulation, that is to say sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall not include any of the following tissues:

4.2.1 The head (including tonsils but excluding tongue, cheek and skin) and the spinal cord of ovine and caprine animals aged over 12 months or which have a permanent incisor erupted through the gum,

4.2.2 Spleen and ileum of ovine and caprine animals of all ages

4.3 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan, and the carcasses and animals from which they are derived should be traceable to production records.

5. Processing requirements:

5.1 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall be processed using procedures ensuring compliance with point 4 and integrated into the facility HACCP/SSOP.

5.2 Sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall be processed in a manner to ensure the hygienic removal of the SRM as described above in point 4.2. and to prevent any cross-contamination by these SRM.

5.3 The facility HACCP/SSOP shall include internal verification activities that allow to control the specified requirements of this EVP are effectively implemented and met.

6. Designated facilities for export to Japan:

6.1 The designated facilities for export sheep and goat meat and sheep and goat offal to Japan from Spain shall be facilities (slaughterhouses, cutting plants, processing plants, and cold stores) approved by the Spanish competent authorities following an on-site inspection. The approval of the designated facilities is under the responsibility of the Spanish competent authorities in accordance with the MHLW.

6.2 The designated facilities shall meet the specified products and processing requirements for sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan from Spain.

6.3 The designated facilities for export to Japan shall be listed by the MAPA. The MAPA shall provide regularly to the MHLW an official listing of the designated facilities for sheep and goat meat and sheep and goat offal to Japan. The MAPA will keep the MHLW informed of any amendments as regards additions, delisting and address or activity change at the listed facilities.

6.4 The designated facilities for export sheep and goat meat and sheep and goat offal to Japan from Spain are responsible for the compliance with all requirements outlined in this procedure and the Spanish and EU regulations.

6.5 All necessary information to verify the enforcement of the EVP by the designated facilities shall be available to the MAPA for review.

7. Export certificate

7.1 sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan shall be accompanied by an export certificate issued by the MAPA when exported to Japan.

7.2 The export certificate shall include the information as required by the Food Sanitation Act of Japan.

7.3 The export certificate shall mention the following statement: "All the required conditions described in the "SPAIN Export Verification Program - Japan" were fulfilled".

8. Audit and import inspection of the MHLW

8.1 The MHLW may conduct on-site audits of the Spanish inspection system including visit of the MAPA, designated facilities that export sheep and goat meat and sheep and goat offal to Japan and relevant facilities.

8.2 If non-compliance with these standards is found as a result of the audit or the import inspection of the MHLW, the Spanish competent authorities shall take appropriate measures including corrective and/or preventive action.

These requirements for sheep and goat meat and sheep and goat offal for export to Japan from Spain will go into effect on January 15th, 2020.

Spanish competent authorities include the Ministry of Agriculture, Fisheries and Food (MAPA) and the Ministry of Health, Consumption and Social Welfare (MSCBS), Regional and local authorities.

輸出証明プログラム

日本向けに輸出可能な羊及び山羊のと畜並びに羊及び山羊の肉及び内臓肉の加工の基準：

この輸出証明プログラム（EVP）は、スペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉^{*}の指定された製品の条件、加工条件及び施設基準を規定する。本文書には、更にスペインとEUの規則が加えられるが、関連する国内条件も含まれることがある。なお、スペイン農業・漁業・食糧省（MAPA）及び健康・消費・社会福祉省（MSCBS）がスペインにおける EVP 実施の中央の監督権限を有している。

1 目的

本文書は、次の目的を達成するために、日本向けに輸出する羊及び山羊の肉及び内臓肉の生産において、と畜場及び加工施設が満たすべき基準を記載する。

- ・ 日本に輸出できない全ての組織が、枝肉から除去されるようにする
- ・ と畜及び/又は加工処理中、日本に輸出できる羊及び山羊の肉及び内臓肉が輸出できない組織により交差汚染されることを防ぐ
- ・ スペイン及びEU域内の条件に加えて、伝達性海綿状脳症（TSE）に関する日本の輸入条件に遵守していることの証明を可能とする

2 範囲

本文書は、スペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉を生産するスペインの施設に適用する。その施設は、スペインから日本に輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉の指定された製品の加工条件及び施設基準を満たさなければならない。これらの施設は、日本の厚生労働省との合意により、MAPAによって指定され、リスト化されなければならない。

3 個体識別とトレーサビリティ記録

- 3.1 羊及び山羊生体は、スペインで生まれ飼養されたもの、若しくは日本への羊及び山羊の肉及び内臓肉の輸出が認められている国からスペインへ輸入されたものでなければならない。
- 3.2 羊生体は個別に特定されていなければならない。
- 3.3 4.1 を遵守する日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉であることを明確にする個体識別マークは、各加工段階における製品に適用される。
- 3.4 工程における記録及び個体識別情報は以下のことを追跡するのに十分であること

* 「羊及び山羊の肉及び内臓肉」とは、羊及び山羊の肉、並びに羊及び山羊の内臓肉とそれらを細切したものを指し、加工された羊及び山羊製品を含まない。

- 3.4.1 日本に輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉から枝肉
- 3.4.2 個々のと体から個々の動物
- 3.4.3 個々の動物から農場記録

4 特定の製品条件

- 4.1 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉は、厚生労働省とスペイン食品安全当局が日本への輸出が可能であると認めた肉、内臓肉及びそれらの製品でなければならない。
- 4.2 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉は、日本の規則により定義されるどの特定危険部位（SRM）も含んではならない。したがって、日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉には、以下の組織を含んではならない。
 - 4.2.1 12 か月齢を超える羊及び山羊又は永久歯が萌出した羊及び山羊の頭部（扁桃は含まれるが、舌、頬肉及び皮は含まれない）並びに脊髄
 - 4.2.2 全月齢の羊及び山羊の脾臓及び回腸
- 4.3 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉並びにそれらに由来する枝肉及び動物は、生産記録まで追跡可能であるべきである。

5 加工条件

- 5.1 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉は、4 の遵守が確保された施設の HACCP/SSOP による手順で加工されなければならない。
- 5.2 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉は、前述の 4.2 中に記載されているように確実に SRM が衛生的に除去される方法でなければならない。また、SRM によるいかなる汚染も防がなければならない。
- 5.3 施設の HACCP/SSOP に内部監査を含め、本文書の特定の条件が効果的に実行され、適合しているかを管理できるようにしなければならない。

6 日本向け輸出施設の指定

- 6.1 スペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉の指定施設は、現地調査の後、スペイン食品安全当局による認可を得た施設（と畜場、カット施設、加工施設、冷蔵施設）でなければならない。指定施設の認可は厚生労働省との合意によるスペイン当局の責任の下にある。
- 6.2 指定施設はスペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉として指定された製品及び加工条件に適合していなければならない。
- 6.3 日本向け輸出の指定施設は MAPA によりリスト化され、MAPA は公式な、日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉の指定施設リストを、定期的に厚生労働省へ提供しなければならない。MAPA は指定施設のリストへの追加、削除及び指定施設の所在地や営業内容の変更に関する修正情報について、厚生労働省に随時提供することとする。
- 6.4 スペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉の指定施設は、本手順に示す全ての条件並びにスペイン及び EU の規制を遵守しなければならない。
- 6.5 指定施設における本文書の執行状況を確認するために必要な全ての情報は、MAPA の審査のために提供されなければならない。

7 輸出証明書

- 7.1 日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉には MAPA が発行する衛生証明書が添付されなければならない。
- 7.2 衛生証明書は日本の食品衛生法に規定される必要な情報を含まなければならない。
- 7.3 衛生証明書は次の文を含まなければならない。「スペイン輸出証明プログラム-日本」に記載される全ての条件を満たす。」

8 厚生労働省による監査及び輸入検査

- 8.1 厚生労働省は、MAPA、日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉の指定施設及び関連施設を含む、スペインの監視システムに関する現地査察を実施することができる。
- 8.2 厚生労働省による監査又は輸入検査の結果、これらの基準が遵守されていないことが判明した場合は、スペイン食品安全当局は改善及び/又は防止措置を含む適切な対応をとらなければならない。

スペインから日本向けに輸出される羊及び山羊の肉及び内臓肉にかかるこれらの条件は、2020年1月15日から適用される。

スペインの食品安全当局には、スペイン農業・漁業・食糧省（MAPA）、健康・消費・社会福祉省（MSCBS）、地方及び地域の食品安全当局を含む。



別添 2

REINO DE ESPAÑA

Ref: ASE-2402
MPG0919

CERTIFICADO VETERINARIO PARA LA EXPORTACIÓN DE CARNE FRESCA Y DESPOJOS DE OVINO Y CAPRINO A JAPÓN / VETERINARY CERTIFICATE FOR EXPORTING SHEEP AND GOAT MEAT AND SHEEP AND GOAT OFFAL TO JAPAN

Parte I : Datos relativos a la partida expedida/Part I: Details of dispatched consignment			
I.1. Expedidor/Consignor: Nombre/Name: Dirección/Address:		I.2. Número de referencia del certificado/Certificate reference number:	I.2.a
		I.3. Autoridad Central Competente/Central Competent Authority: MINISTERIO DE AGRICULTURA, PESCA Y ALIMENTACION	
		I.4. Autoridad Local Competente/Local Competent Authority:	
I.5. Destinatario/Consignee: Nombre/Name: Dirección/Address:		I.6.	
I.7. País de origen/ Código ISO <i>//Country of origin/ ISO code:</i>	I.8. Región de origen/Región of origin:	I.9. País de destino / Código ISO <i>//Country of destination / ISO code:</i>	I.10. Región de destino/Región of destination:
I.11. Lugar de origen/Place of origin: Nombre/Name: Nº de autorización/Approval number: Dirección/Address:		I.12. Lugar de destino/Place of destination:	
I.13. Lugar de carga/Place of loading:		I.14. Fecha y hora de salida /Date and time of departure:	

I.15. Medio de transporte/ <i>Means of transport:</i> Avión/ <i>Aeroplane</i> <input type="checkbox"/> Buque/ <i>Ship</i> <input type="checkbox"/> Vagón de ferrocarril/ <i>Railway wagon</i> <input type="checkbox"/> Camión/ <i>Road vehicle</i> <input type="checkbox"/> Otros/ <i>Other</i> <input type="checkbox"/> Identificación/ <i>Identification:</i> Referencias documentales/ <i>Documentary references:</i>		I.16. Punto de entrada en Japón / <i>Entry Point in Japan:</i> I.17.			
I.18. Temperatura del producto/ <i>Temperature of product:</i> Ambiente/ <i>Ambient</i> <input type="checkbox"/> Refrigerado/ <i>Chilled</i> <input type="checkbox"/> Congelado/ <i>Frozen</i> <input type="checkbox"/>		I.19. Peso bruto/ <i>Total gross weight:</i> I.20. Número de bultos total/ <i>Total number of packages:</i>			
I.21. Identificación del contenedor / <i>Identification of container</i>		I.22. Tipo de embalaje / <i>Type of packaging</i>			
I.23. Número de precinto / <i>Seal number:</i>		I.24. Para su importación o admisión en Japón / <i>For import or admission into Japan</i>			
I.25. Mercancías certificadas para/ <i>Commodities certified for:</i> <p style="text-align: center;">Consumo humano / <i>Human Consumption</i> <input type="checkbox"/></p>					
I.26. Descripción de la mercancía / <i>Description of Commodity:</i>		I.27.			
I.28. Identificación de la mercancía/ <i>Identification of the commodities:</i>					
Descripción del producto / <i>Description of the product</i>	Número de lote / <i>Batch number</i>	Fecha de sacrificio / <i>Date of slaughter</i>	Fecha de despiece / <i>Cutting date</i>	Peso neto (kg)/ <i>Net weight (kg)</i>	Nº de piezas o bultos / <i>Nº of pieces or packages</i>
Nombre, dirección y nº de registro de Matadero / <i>Name, address, and approval number of Slaughterhouse</i>	Nombre, dirección y nº de registro de Sala de despiece / <i>Name, address, and approval number of Cutting plant</i>	Nombre, dirección y nº de registro de Almacén Frigorífico / <i>Name, address, and approval number of Cold Store</i>	Nombre, dirección y nº de registro de Centro de reenvasado / <i>Name, address, and approval number of Rewrapping centre</i>		

Parte II: Certificación / Part II: Certification

II Información Sanitaria / Health information:

Yo, veterinario oficial abajo firmante, certifica que / I, the undersigned official veterinarian, do hereby certify that:

1. España es un país libre de fiebre aftosa (FA) y peste bovina, y está prohibida la vacunación contra la fiebre aftosa y la peste bovina. / Spain is free from Foot-and-mouth disease (FMD) and Rinderpest, and vaccination against FMD and Rinderpest is prohibited in Spain.
2. La importación de animales de pezuña hendida que se hayan vacunado contra fiebre aftosa y peste bovina está prohibida en España. / Importation of cloven-hoofed animals that have been vaccinated against FMD and Rinderpest is prohibited in Spain.
3. La autoridad competente de España tiene instauradas medidas para prevenir la introducción de encefalopatía espongiforme bovina (EEB), controlar su propagación y detectar casos; estas medidas incluyen la eliminación del MER, la prohibición efectiva de harinas cárnicas para alimentación animal y el programa de vigilancia de la enfermedad. / The competent authority of Spain maintains measures to prevent introduction, control spread, and detect Bovine spongiform encephalopathy (BSE); these measures include SRM removal, effective feed ban, and surveillance program of the disease.
4. La carne de ovino/caprino exportada a Japón no contiene los siguientes tejidos: / The exported sheep/goat meat to Japan all parts of sheep and goat derived therefrom, except the following tissues:
 - Cabeza (incluyendo las amígdalas pero excluyendo la lengua, los maseteros y la piel) y la médula espinal de los ovinos y caprinos de más de 12 meses o en cuya encía haya hecho erupción un incisivo definitivo. / Head (including tonsils but excluding tongue, cheek and skin) and spinal cord from sheep and goat over 12 months of age or which have a permanent incisor erupted through the gum.
 - Bazo e ileón de ovejas y cabras de todas las edades. / Spleen and ileum of all ages of sheep and goat.
5. Los animales sacrificados para la producción de carne exportada a Japón deben haber nacido y haber sido criados solo en España. / Sheep and goat slaughtered for the production of the exported sheep / goat meat to Japan must have been born and raised only in Spain. (1)

O bien / or (1)

Los animales han sido importados directa y legalmente desde los terceros países libres (2) o los países especificados (3) y criados en España: / Sheep and goat must be directly and legally imported from and via the third free countries (2) or the specified countries (3) and raised in Spain:(4)

- Dichos animales deben haber nacido y haber sido criados únicamente en los terceros países libres (2) o en los países especificados (3). / The said animals must be born and raised only in the third free countries (2) or the specified countries (3).
 - Los ovinos o caprinos sacrificados no eran casos sospechosos o confirmados de EEB, ni cohortes de casos de EEB, según se define en el Código sanitario para animales terrestres adoptado por la Organización Mundial de Sanidad Animal (OIE). / The slaughtered sheep and goats were not suspect or confirmed BSE cases, or cohorts of BSE cases, as defined in the Terrestrial Animal Health Code adopted by the World Organisation for Animal Health (OIE).
 - Dichos animales deben estar libres de cualquier evidencia de enfermedades infecciosas de los animales como resultado de la inspección de exportación realizada por las autoridades gubernamentales de los terceros países libres (2) o los países especificados (3). / The said animals must be free from any evidence of animal infectious diseases as a result of export inspection conducted by the government authorities of the third free countries (2) or the specified countries (3).
 - Dichos animales deben ser importados directa y legalmente a España desde los terceros países libres (2) o los países especificados (3) sin transitar a través de países que no sean dichos países, y deben ir acompañados de certificados de inspección emitidos por las autoridades gubernamentales de dicho país. / The said animals must be directly and legally imported to Spain from and via the third free countries (2) or the specified countries (3) without transiting through countries other than the said countries, and must be accompanied by inspection certificates issued by the government authorities of the said country.
 - Dichos animales deben estar libres de cualquier evidencia de enfermedades infecciosas como resultado de la inspección de importación realizada por la autoridad competente de España. / The said animals must be free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the competent authority of Spain.
6. La carne de ovino/caprino exportada procede de animales nacidos y criados en España. / The exported sheep/goat meat to Japan is derived from animals born and raised in Spain (1)

O bien / or (1)

- La carne de ovino/caprino exportada se importa directa y legalmente desde los terceros países libres (2) o los países especificado (3). / The exported sheep/goat meat to Japan is directly and legally imported from and via the third free countries (2) or the specified countries(3):(4)
- La carne de ovino/caprino exportada debe proceder de animales de pezuñas hendidas que nacieron y se criaron solo en los terceros países libres (2) o en los países especificados (3). / The exported sheep/goat meat to Japan must be derived from cloven-hoofed animals that were born and raised only in the third free countries (2) or the specified countries (3).
- La carne de ovino/caprino exportada debe proceder de ovinos y caprinos que no hayan sido sospechosos o casos confirmados de EEB, o cohortes de casos de EEB, según se define en el Código sanitario para los animales terrestres adoptado por la Organización Mundial de Sanidad Animal (OIE). / The exported sheep/goat meat to Japan must be derived from sheep and goats which were not suspect or confirmed BSE cases, or cohorts of BSE cases, as defined in the Terrestrial Animal Health Code adopted by the World Organisation for Animal Health (OIE).
- La carne de ovino/caprino exportada debe proceder de animales sacrificados que cumpla con las restricciones de edad y las extracciones de MER impuestas a la carne de ovino/carpino para exportar a Japón desde el país donde se importó el ganado. / The exported sheep/goat meat to Japan must be derived from slaughtered sheep and goats which meet age restrictions and SRM removals imposed on sheep/goat meat for export to Japan from the country where the sheep and goats was imported.
- La carne de ovino/caprino exportada ha sido manipulada solo en las instalaciones designadas en los terceros países libres (2) o en los países especificados (3) y procede de animales de pezuñas hendidas que estén libres de cualquier evidencia de enfermedades infecciosas en animales como resultado de inspecciones ante y post mortem realizadas por veterinarios oficiales

de los terceros países libres o los países especificados. / *The exported sheep/goat meat to Japan must be handled only at the designated facilities in the third free countries (2) or the specified countries (3) and be derived from cloven-hoofed animals that were free from any evidence of animal infectious diseases as a result of ante- and post-mortem inspections conducted by official veterinarians of the third free countries or the specified countries.*

- La carne de ovino/caprino exportada ha sido directa y legalmente importada a España desde los terceros países libres (2) o los países especificados (3) sin transitar a través de otros países que no sean dichos terceros países libres especificados, y debe ir acompañada de un certificado de inspección emitido por las autoridades gubernamentales de los terceros países libres o los países especificados. / *The exported sheep/goat meat to Japan must be directly and legally imported to Spain from and via the third free countries (2) or the specified countries (3) without transiting through countries other than the said third free countries or the specified countries, and must be accompanied by inspection certificates issued by the government authorities of the third free countries or the specified countries.*
 - La carne de ovino/caprino exportada es libre de cualquier evidencia de enfermedades infecciosas de los animales como resultado de la inspección de importación realizada por la autoridad competente de España, y ha sido llevada directamente a las instalaciones designadas en España después de dicha inspección. / *The exported sheep/goat meat to Japan must be free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the competent authority of Spain, and must be directly carried into the designated facilities in Spain after the said inspection.*
7. Los ovinos y caprinos sospechosos o confirmados de casos de EEB o sus cohortes de nacimiento no pueden ser utilizados en España para la producción de materiales para consumo humano o animal. / *Slaughtered sheep and goats that are known to be suspect or confirmed BSE cases or their birth cohorts may not be utilized in Spain for the production of materials for human or animal consumption.*
 8. Los ovinos y caprinos sacrificados no eran casos sospechosos o confirmados de Scrapie. / *The slaughtered sheep and goat were not suspect or confirmed Scrapie cases.*
 9. La carne de ovino/caprino exportada a Japón se ha sacrificado y manipulado solo en las instalaciones designadas aprobadas por las autoridades competentes españolas conforme a los requisitos de Sanidad Animal y al Programa de Verificación de la Exportación. / *The exported sheep/goat meat to Japan has been slaughtered and handled only at the designated facilities approved by the Spanish competent authorities in accordance with Animal Health Requirements and Export Verification Program.*
 10. Los animales han sido sometidos a una inspección ante-mortem y post-mortem realizadas por inspectores veterinarios de las autoridades competentes en las instalaciones designadas y estaban libres de cualquier evidencia de enfermedades infecciosas en el momento del sacrificio. / *The slaughtered sheep and goats were free from any evidence of animal infectious diseases as a result of ante- and post-mortem inspections conducted by veterinary inspectors of the animal health authorities of Spain in the designated facilities at the time of slaughter.*
 11. La carne de ovino/caprino exportada a Japón se ha manipulado en las instalaciones designadas de manera que se evite la contaminación con cualquier agente causante de enfermedades infecciosas de los animales hasta su envío a Japón. Se han utilizado embalajes y / o contenedores limpios e higiénicos, como cajas de cartón, para empaquetar la carne exportada a Japón. / *The exported sheep/goat meat to Japan has been handled at the designated facilities in such a way as to prevent contamination with any causative agents of animal infectious diseases until shipment to Japan. Clean and sanitary wrappings and/or containers such as cardboard boxes must be used to pack the exported sheep/goat meat to Japan.*
 12. La carne de ovino/caprino exportada a Japón que se manipulan en las instalaciones de almacenamiento deben estar completamente envueltos y en cajas, y están adecuadamente separados de cualquier carne, etc. que no sean productos que cumplan con este certificado. / *The exported sheep/goat meat to Japan which is handled in the storage facilities must be completely wrapped and boxed, and must be effectively segregated from any meat etc. other than products complying this certificate.*
 13. La carne procede de animales sacrificados y procesados en condiciones sanitarias de acuerdo con las leyes y reglamentos de España, que son al menos equivalentes a las leyes y reglamentos de Japón. / *The meat described here was obtained from animals slaughtered and processed under sanitary conditions in accordance with laws and regulations of Spain, which are at least equivalent to laws and regulations of Japan.*
 14. Se cumplen todas las condiciones requeridas descritas en el "Programa de verificación de exportaciones de ESPAÑA - Japón" / *All the required conditions described in the "SPAIN Export Verification Program - Japan" were fulfilled*

Notas/Notes:

Parte II / Part II

- (1) Tachar lo que no proceda. / *Delete as appropriate.*
- (2) Países terceros libres / *the third free countries: <http://www.maff.go.jp/aqs/english/news/third-free.html>*
- (3) Países específicos para exportar carne de ovino/caprino, ovino y caprino a Japón, diferentes a los terceros países libres. / *The specified countries for export sheep/goat meat, sheep meat etc. or goat meat etc. to Japan other than the third free countries: <http://www.maff.go.jp/aqs/english/news/eligible-bse-country.html>*
- (4) Indicar el nombre del país / *Indicate the name of the country*

Veterinario oficial / Official veterinarian

Nombre (en mayúsculas) / Name (in Capital):

Cualificación y título / Qualification and title:

Lugar y Fecha / Place and Date:

Firma / Signature :

Sello / Stamp

2019年度国産食肉加工品国際競争力強化対策事業
加工資材等安定確保対策事業調査報告書
(スペイン編)

令和2年3月31日発行

発行・編集 日本ハム・ソーセージ工業協同組合

制作・印刷 株式会社博秀工芸
